

応急仮設住宅団地における集会所建設に関する一考案 ～徳島の地域性に配慮した「みんなの家」の事前設計案～

阿南工業高等専門学校創造技術工学科建設コース 5 年
野口 佑大

応急仮設住宅団地における集会所建設に関する一考案 ～徳島の地域性に配慮した「みんなの家」の事前設計案～

阿南工業高等専門学校
創造技術工学科建設コース
多 田 研 究 室

研究の概要



引用: <http://cdc.jp/>



引用: <http://www.kensetunews.com/>

2011年 東北 東北地方太平洋沖地震

居住環境問題が提起された



2016年 熊本 平成28年熊本地震

木造による仮設住宅・集会所「みんなの家」を建設
居住環境問題の改善

2020年現在

南海トラフ地震の発災が懸念されている

研究の概要

徳島の現状-課題-

徳島では南海トラフ地震に備え、仮設住宅団地の配置計画を進めている
仮設住宅の配置計画は進行中だが、集会所の計画は規模や配置のみ

被災者の心身の傷を緩和させる場



居住環境問題の改善は急務

-目的-

本研究では、計画が留まっている集会所を
事前に設計する必要性や有用性を示す



阿南市のモデル配置計画 (徳島県建築士会提供)

「みんなの家」とは

災害救助法に基づき
仮設住宅団地内に設置する集会所のこと



-入居者の交流の場-
居住環境問題を改善させる



引用: 熊本HP pref.kumamoto.jp

熊本でのヒアリング調査(2019.9.12)

-熊本県職員、地元工務店へのヒアリング-

相手方：熊本県職員 土木部建築住宅局住宅課 緒方氏
熊本県職員南広域本部土木部景観建築課 山口氏
エバーフィールド 久原社長

日時：令和元年9月12日

質問	内容
仮設住宅団地建設について	発災から間もない期間は県も工務店も混乱の中対応していた
	発災後1~2か月で仮設住宅団地が竣工
	発災後2か月は地元の工務店、大工、監督で復興
仮設住宅について	災害発災時、職人(大工)や現場監督も不足する
	災害救助法による建設のするため欠陥があるのが現状
	健康的かつ安心した生活を送れるように良質な仮設住宅を提供すべき
配置計画について	市町村では、発災後の配置計画案練りや修正に苦労した
	経験のない人が仮設団地の計画をするのは困難
	計画にこだわったことで仮設団地内の問題を緩和できた
	震災の被害予想は困難、応急仮設の計画は重要である

-サポート拠点へのヒアリング-

相手方：訪問ボランティアナースの会「キャンナス熊本」 坂本氏

日時：令和元年9月12日

質問	ヒアリング内容
運営について	益城町テクノ団地の管理・見守り支援を行っている
	各仮設団地のサポートセンターとも連携
	ピーク時には15人ほどで見守り支援
	現在(R1.9月)では5~6人のスタッフで見守り支援
	災害急性期には24時間体制で運営
活動について	居住者の生活再建支援
	居住者への声掛け・訪問
	3か月に1回は必ず訪問
	居住者の健康面での相談、医療機関との連携
	社会福祉協議会と居住者の仲介人として支援

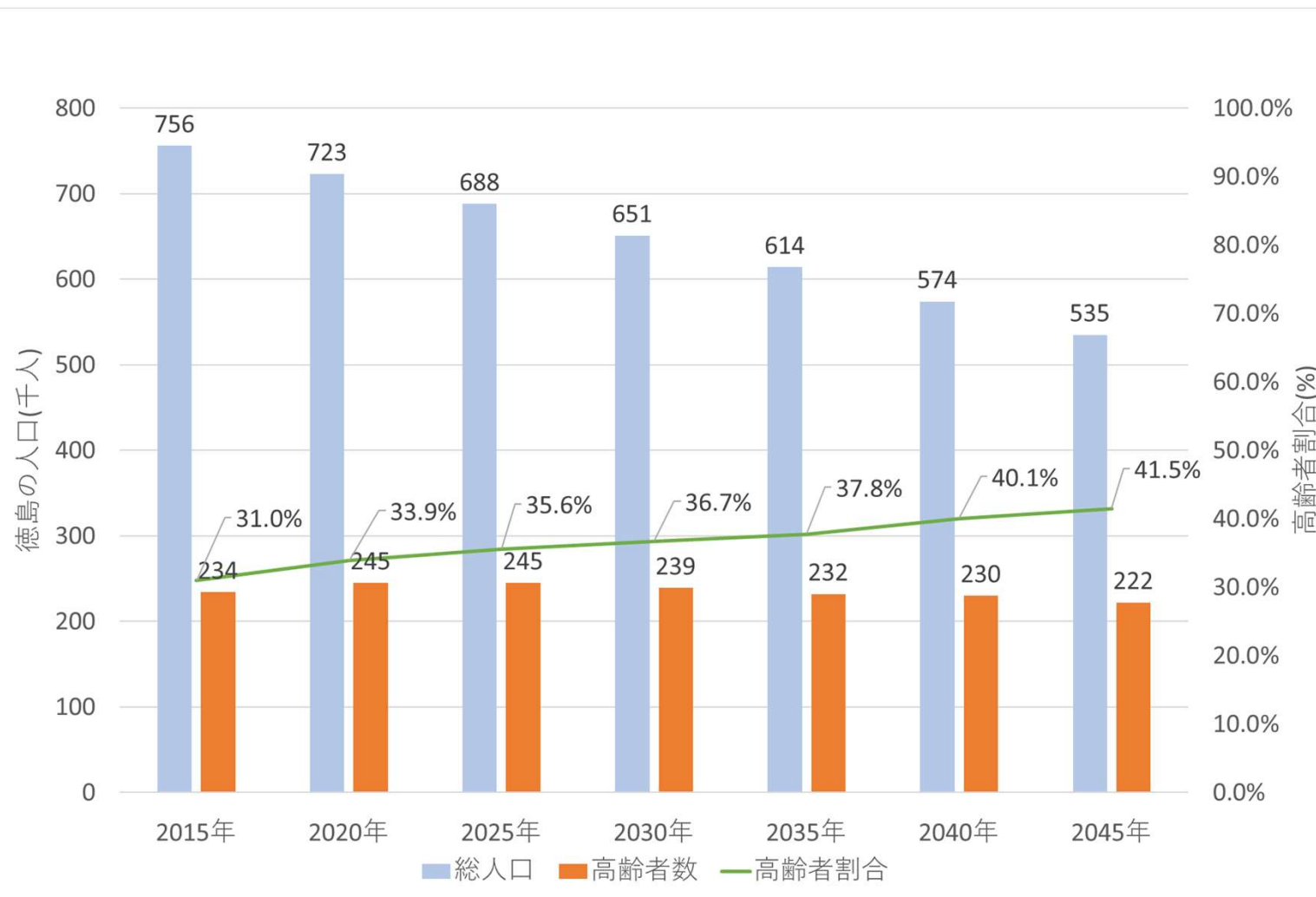
-「みんなの家」計画に対する今後の推測 -

発災初期は災害による混乱が続き、配置計画は困難

現在も支援が必要な入居者がおり、被災中のコミュニティ形成が困難

→事前に、仮設住宅団地の集会所をより詳細に行うことが重要

徳島の将来人口予測からみた 仮設住宅団地の建設に関する考察



- ・人口減少の傾向
- ・高齢者割合が上昇



被災時、
仮設団地建設の人材不足



**発災前に
集会所「みんなの家」整備**

徳島の地域性に考慮した 「みんなの家」の事前設計案

-コミュニティ形成-

発災前に集会所を整備→被災前にコミュニティ形成を図れる

徳島の地域特性であり、**県民のなじみ深い**「阿波踊り」に着目した

～阿波踊りに関する徳島の課題～

→各連が利用できる阿波踊り練習場所が少ない

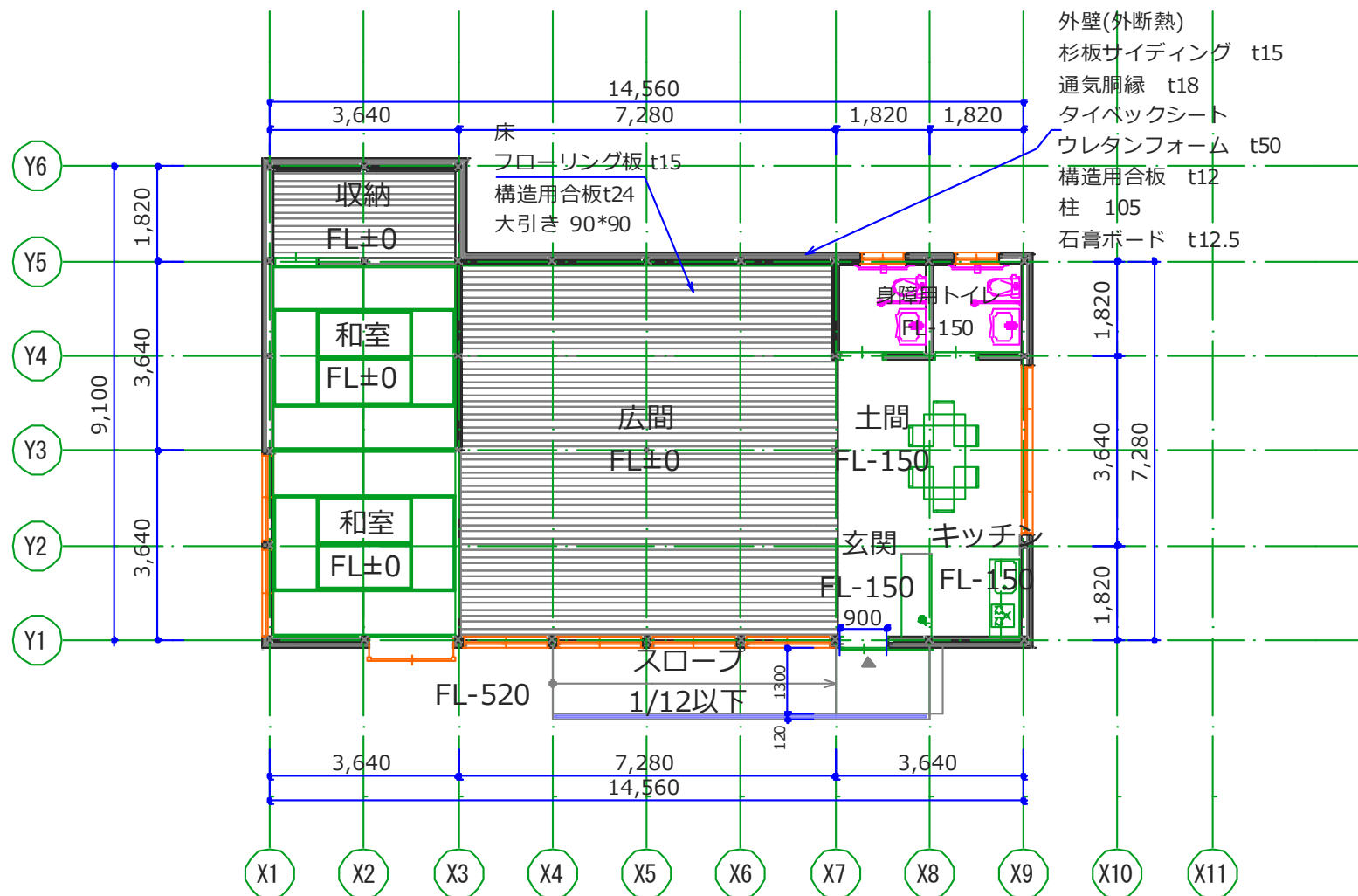


発災前は、**阿波踊りの練習拠点**として設計



徳島の地域性に考慮した 「みんなの家」の事前設計案

-平面図-



-断面図-

ガルバリウム鋼板 t10

アスファルトルーフィング

合板 t12

空氣層 t 30 (通氣垂木45*90@303)

ウレタンフォーム t60

合板 t15

外壁(外断熱)

杉板サイディング t15

通気胴縁 t18

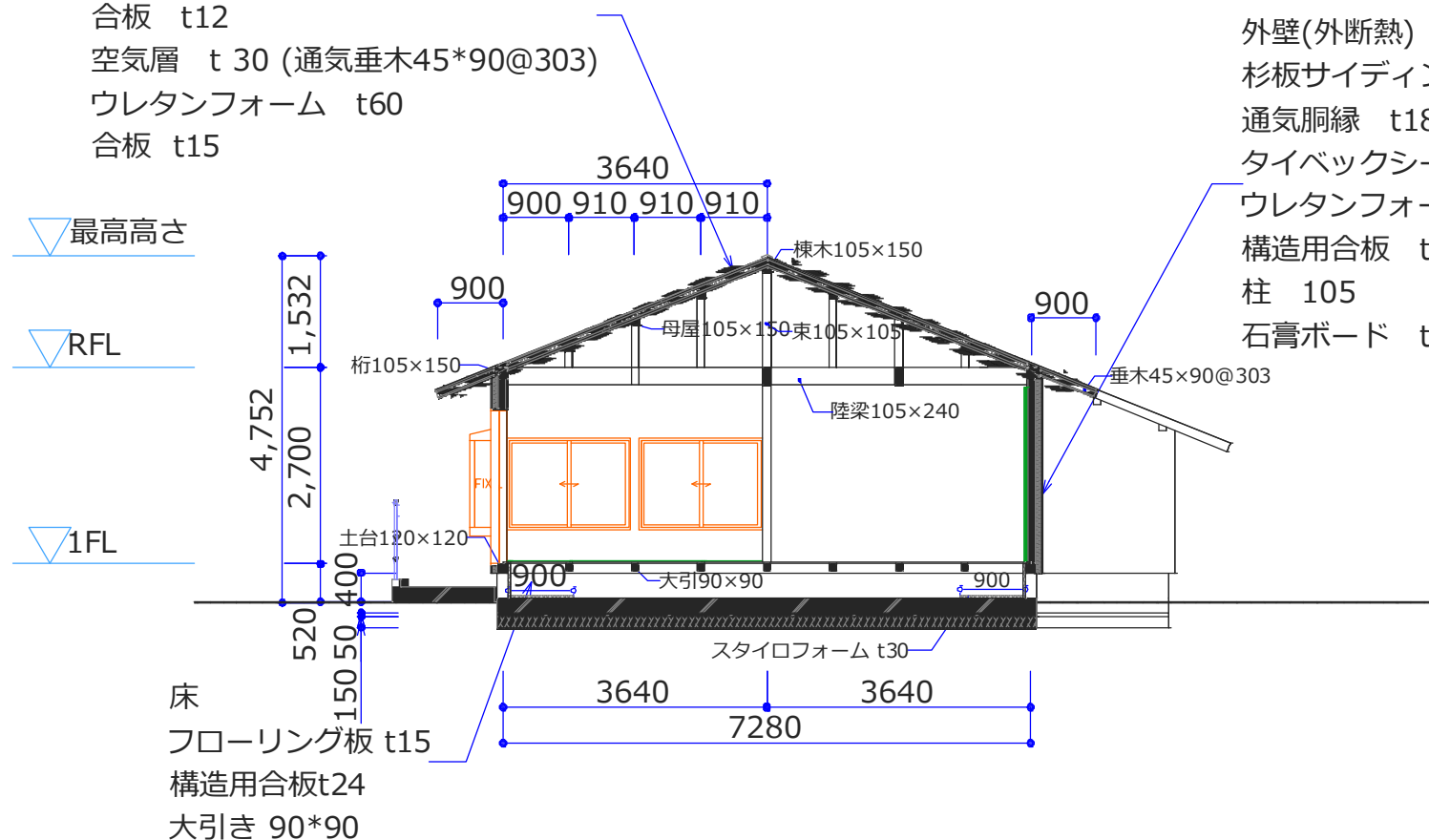
タイベックシート

ウレタンフォーム t50

構造用合板 t12

柱 105

石膏ボード t12.5



徳島の地域性に考慮した「みんなの家」の事前設計案
-発災前-



徳島の地域性に考慮した「みんなの家」の事前設計案
-発災前-



徳島の地域性に考慮した「みんなの家」の事前設計案
-発災後-



徳島の地域性に考慮した「みんなの家」の事前設計案
-発災後-



今後の課題

-本研究-
集会所建設に関する一考案



徳島の地域性に配慮した「みんなの家」の事前設計

しかし、
地域性に適合した設計案かは検証していない

-今後の課題-
**本研究で考案した設計案が、徳島の地域性に
適合するか検証を進める必要がある**



徳島の地域性に考慮した 「みんなの家」の事前設計案

熊本ヒアリング調査

震災に先行する集会所建設

阿波踊りの練習拠点

徳島の地域性に配慮した「みんなの家」の事前設計

東日本大震災以前

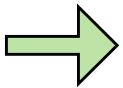
仮設住宅団地の建設



土木がメイン

2011年

東日本大震災：住居環境問題が提起

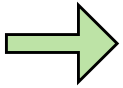


建築も必要

孤独死を防ぐ
集会所の建設

2016年

熊本大震災：居住環境問題の改善



土木
建築

木造仮設住宅
集会所「みんなの家」

今後

仮設住宅団地の建設

